

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立義務教育学校八束学園 前期課程）

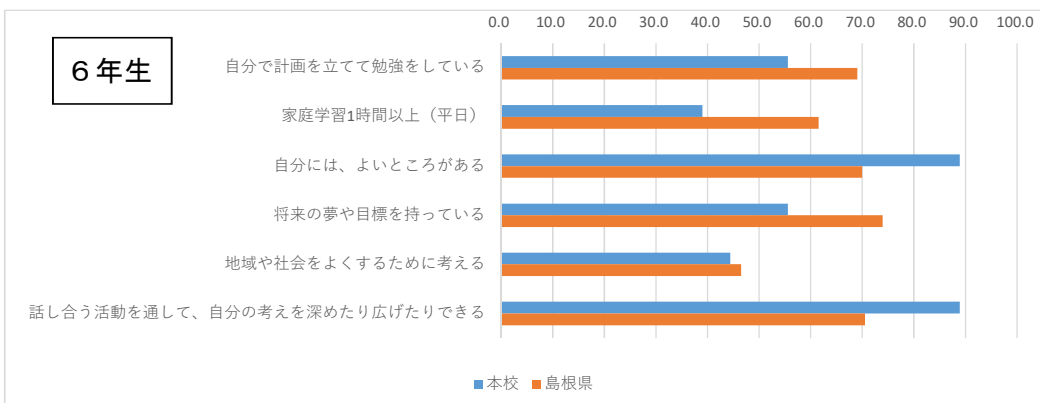
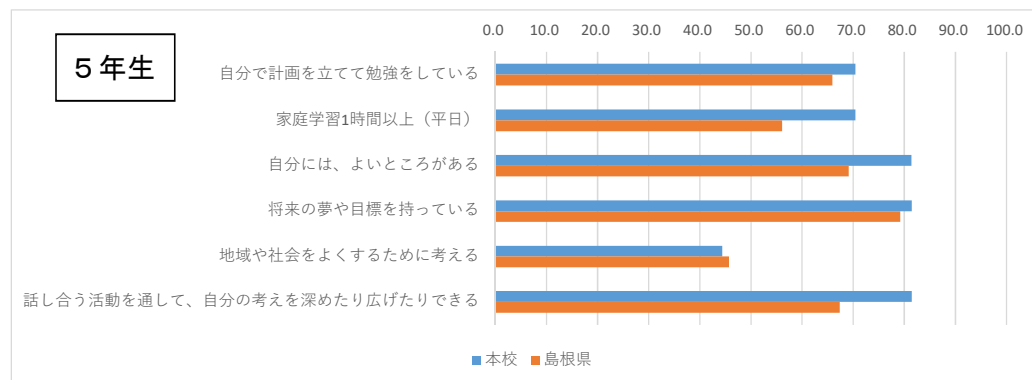
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年国語	○5年生配当漢字の理解、物語文における登場人物の心情の読み取りや意見や感想を的確に表現できている児童は、県や全国平均と同等またはそれ以上いる。 ○自分の意見やその理由を、構成に気をつけて書くことができる児童が全国平均の7ポイント以上いる。 ●連用修飾語や同音異義語など、言葉の学習における正答率が県や全国平均を下回っている。 ●記述回答で、複数の条件を満たしていない誤答が多い。	6年国語	○話す・聞くことは、県や全国平均を10ポイント近く上回っている。 ○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えたり、目的や意図に応じて、書き表し方を工夫することができる児童の割合が、県や全国平均を大きく上回っている。 ●読み取った内容を、目的に応じて簡単に書くことができる児童の割合が県、全国平均を大きく下回っている。 ●記述問題での誤答が多い。
5年算数	○公倍数、最大公約数、通分、図形の合同条件、公式の利用等基本事項は平均と比べ6～10ポイント以上上回っている。 ○立式したり、表などを見て比例関係を判断したり、平均を求めたりなども6～10ポイント以上上回っている。 ●小数第1位の数値が入った計算は15ポイント近く下回っている。 ●平均から全体の量を推測したり、単位量あたりの大きさの式について説明したりすることは平均より30ポイント近く下回っている。	6年算数	○分数の計算での割合・文章問題、拡大図は平均と比べ10ポイント以上上回っている。 ○分数の計算での分配法則、線対称と点対称な図形は平均と比べ5～10ポイント程度上回っている。 ○昨年度5年生時に実施の学力テストと比較すると、全国平均が5.8ポイント上昇したのに対し、6.5ポイント上昇した。 ●等しい比の問題は正答者がいなかった。 ●平均と比べ、10ポイント以上の開きがある問題が8問あり、その内4問は30ポイント以上の開きがある。 ●記述問題での誤答が多い。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年	○次に挙げる項目が島根県の平均と比べ、10ポイント以上上回っている。「家庭学習1時間以上」…14.3%「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりできる」…14.2%「自分にはよいところがある」…12.3% ●「地域や社会をよくするために考える」のみ島根県の平均を1.3ポイントほど下回っている。	6年	○「自分にはよいところがある」…88.9%と、自己肯定感が高い。「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりできる」…88.9%という結果からも、互いに尊重し、認め合っていることを自覚できている。 ●「家庭学習1時間以上」…39%、「将来の夢や目標を持っている」…55.6%から、立志式に参加した経験を活かして、将来の夢や目標について考える機会があるとよい。
----	--	----	---

(3) 意識調査（教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています）



【受検者数】 5年生 27名 6年生 21

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。